



報道解禁：平成28年12月27日（火）15：00以降

平成28年12月27日
独立行政法人日本学術振興会

第13回（平成28年度）日本学術振興会賞の受賞者決定 （25名の若手研究者が受賞）

独立行政法人日本学術振興会（理事長 安西 祐一郎）は、本会に設置されている日本学術振興会賞審査会（委員長 野依 良治：科学技術振興機構研究開発戦略センター長）の選考に基づき、日本の学術研究の将来のリーダーと期待される日本学術振興会賞受賞者25名を決定しましたのでお知らせいたします。

<日本学術振興会賞ホームページ： <http://www.jsps.go.jp/jsps-prize/index.html>>

1 日本学術振興会賞について

本賞は、創造性に富み優れた研究能力を有する若手研究者を見出し、早い段階から顕彰することで、その研究意欲を高め、研究の発展を支援することにより、我が国の学術研究の水準を世界のトップレベルにおいて発展させることを目的としています。

選考は、各分野を代表する我が国のトップレベルの学術研究者により構成される審査会で厳正な審査が行われ、受賞者を決定しました。

2 受賞者について

今回は、人文学、社会科学及び自然科学にわたるあらゆる分野を対象としている本賞ならではの研究者25名に授与されます。

人文学、社会科学系では、古典や出土文字資料を分析し、秦漢時代の法制度について、これまでの通説とは異なる解釈を提示し、広く東アジアの法制の展開過程の研究に大きく貢献した研究者等が選考されました。

自然科学系では、ナチュラルヘルパー細胞と呼ばれる新規のリンパ球を発見し、免疫誘導と制御機構とその破綻による病気の発症に対する理解を深め、免疫学の発展に貢献した研究者等が選考されました。

なお、日本学士院において、これら25名の日本学術振興会賞受賞者の中から、日本学士院学術奨励賞の受賞者が選ばれることとされています。

3 授賞式について

平成29年2月8日（水）に日本学士院（東京都台東区上野公園7-32）において、日本学術振興会賞および日本学士院学術奨励賞の授賞式が同時に行われる予定です。

（お問い合わせ）

独立行政法人日本学術振興会 人材育成事業部長 長澤 公洋、研究者養成課長 川村 篤
電話：03-3263-4934